

BTS 10220 および 2007 年標準時間の変更

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[問題の症状](#)

[回避策とソリューション](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、2007 年 3 月に開始される夏時間を延長するための政府による新しい政策措置について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は BTS 10200 Softswitch に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

2005 年 8 月 8 日、関連法規に署名するブッシュ大統領行進の第 2 日曜日からの 4 週までに 11 月の最初の日曜日に終了するために夏時間（DST）を伸ばすエネルギー政策行為。拡張夏時間は行

進 2007 年で始まるために設定 されます。

問題の症状

この資料に説明があるステップ実行された、潜在的な問題は BTS によって発行されるシステムの時刻およびすべてのタイムスタンプがのおよび向こう 3 週および 1 週 2007 年の落下の 1 時間までに春に不正確になることがです。

回避策とソリューション

この政府命令に従うために、Cisco は行進 2007 年で開始するために設定 される新しい時間の 基準に合致するために必要な ステップを踏み始めました。

この資料のインテントはこの新しい政府命令との準拠性に Call Agent アプリケーションを持って来るために Cisco が準備していること計画を BTS 顧客に知らせることです。

特定の Call Agent に適切な Solaris 時間 の 変更パッケージがあるかどうか確認するのにこれらの一般指標を使用して下さい:

- Solaris 時間 の 変更パッチは Solaris 10. でサポートされます。
- その 122032-02 および 119689-07 を正しいパッチがインストールされ、`showrev` を `-p` Unix コマンド実行し、確認すること確認するためにインストールされています。

リストされたカテゴリーの 1 つにころぶ顧客はこれらのアプリケーション の アップグレード 推奨事項の 1 に準備し、アップグレードする必要があります。

- RLS 3.5.x — RLS 4.5.1 にアップグレードして下さい。
- RLS 4.5.13 — 4.5.13V07 またはそれ以降へのアップグレード。
- RLS 4.5.0 — RLS 4.5.1 にアップグレードして下さい。
- RLS 4.5.1 FCS —自動的に Solaris 10 パッケージおよび他の BTS ソフトウェアの変更を得ます。
- 5.0 FCS —自動的に Solaris パッケージおよび他の BTS ソフトウェアの変更を得ます。
- 4.5.1 の Call Agent 新しいシステムをインストールする (先にこの資料で述べられる) 顧客は Solaris 10 をインストールする必要があり、適切なパッケージが `showrev` コマンドのことを実行によってインストールされることを確かめます。

これらのリストされたカテゴリーの 1 つにころばない場合、尋ねますそれぞれアカウントマネージャに指示して下さい。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)